

昨年開催された 「開基400年一年前イベント」の様子

平成27年5月29～31日



懐かしい遊び



おりがみ祈願



おりがみ教室



歴史トーク「阿波の城下町今昔物語」



スタンプラリー



阿波の食べ物屋台

今回の開基四〇〇年祭でも、懐かしい遊びやおりがみなどの催しを行います。お越しいただいた方が自然と笑顔になれ、そばにいる子供たちにも笑顔に話ができる、一つの家族になれるようなイベントでありたいと思っております。

檀信徒の皆様、地域の皆様にとって、家族に会える場所であるかのようなお寺であられるよう、その第一歩として開基四〇〇年祭を迎えたいと思っております。

「楽しかった、また来年きます」一年前のイベントで、帰り際におっしゃっていただいた言葉です。派手なにぎわいはありません。芸能人が来た訳でもありません。けれども温かい眼差しと子供たちの笑顔が絶えず、お寺にいた全員が一つの家族のような、私自身もその一員であれたように思います。



知彦副住職の思い

「楽しかった、また来年きます」一年前のイベントで、帰り際におっしゃっていただいた言葉です。派手なにぎわいはありません。芸能人が来た訳でもありません。けれども温かい眼差しと子供たちの笑顔が絶えず、お寺にいた全員が一つの家族のような、私自身もその一員であれたように思います。

「楽しかった、また来年きます」一年前のイベントで、帰り際におっしゃっていただいた言葉です。派手なにぎわいはありません。芸能人が来た訳でもありません。けれども温かい眼差しと子供たちの笑顔が絶えず、お寺にいた全員が一つの家族のような、私自身もその一員であれたように思います。

「楽しかった、また来年きます」一年前のイベントで、帰り際におっしゃっていただいた言葉です。派手なにぎわいはありません。芸能人が来た訳でもありません。けれども温かい眼差しと子供たちの笑顔が絶えず、お寺にいた全員が一つの家族のような、私自身もその一員であれたように思います。

明彦住職から皆様へ

「楽しかった、また来年きます」一年前のイベントで、帰り際におっしゃっていただいた言葉です。派手なにぎわいはありません。芸能人が来た訳でもありません。けれども温かい眼差しと子供たちの笑顔が絶えず、お寺にいた全員が一つの家族のような、私自身もその一員であれたように思います。

「楽しかった、また来年きます」一年前のイベントで、帰り際におっしゃっていただいた言葉です。派手なにぎわいはありません。芸能人が来た訳でもありません。けれども温かい眼差しと子供たちの笑顔が絶えず、お寺にいた全員が一つの家族のような、私自身もその一員であれたように思います。